

事業目的	木質加熱アスファルト製造機の導入により、木質廃棄物を木質舗装材料の原料として積極的に利用し、再資源化の促進と有価物として再利用することで産業廃棄物の減量化を目的とする。																								
事業概要	<p>木質骨材加熱装置：骨材の事前加熱が可能となり作業時間の短縮が図れた。</p> <p>砂骨材加熱装置：骨材の事前加熱が可能となり作業時間の短縮が図れた。</p> <p>耐熱搬送装置：加熱した骨材を直接プラントに投入できるようになった</p> <p>操作装置：各種骨材を効率よく既設混合機械へ投入するための電気工事および連動を考慮したシステムづくりを行った。</p>																								
事業結果	<p>今年度の木質加熱アスファルト舗装の施工面積は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、平均を下回ったが改善の兆しは見られる。主に価格面の改善により、設計折込面積は引き続き1万㎡を超えている。</p> <table border="1" data-bbox="327 1216 1276 1601"> <thead> <tr> <th></th> <th>工事施工</th> <th>年度中設計折込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度(補助事業前)</td> <td>4,787㎡</td> <td>6,000㎡</td> </tr> <tr> <td>28年度(補助事業年度)</td> <td>4,734㎡</td> <td>30,000㎡</td> </tr> <tr> <td>29年度(補助事業1年目)</td> <td>4,054㎡</td> <td>18,000㎡</td> </tr> <tr> <td>30年度(補助年度2年目)</td> <td>6,857㎡</td> <td>25,000㎡</td> </tr> <tr> <td>令和元年度(補助年度3年目)</td> <td>24,521㎡</td> <td>40,000㎡</td> </tr> <tr> <td>令和2年度(補助年度4年目)</td> <td>2,638㎡</td> <td>10,000㎡</td> </tr> <tr> <td>令和3年度(補助年度5年目)</td> <td>3,070㎡</td> <td>13,000㎡</td> </tr> </tbody> </table>		工事施工	年度中設計折込	27年度(補助事業前)	4,787㎡	6,000㎡	28年度(補助事業年度)	4,734㎡	30,000㎡	29年度(補助事業1年目)	4,054㎡	18,000㎡	30年度(補助年度2年目)	6,857㎡	25,000㎡	令和元年度(補助年度3年目)	24,521㎡	40,000㎡	令和2年度(補助年度4年目)	2,638㎡	10,000㎡	令和3年度(補助年度5年目)	3,070㎡	13,000㎡
	工事施工	年度中設計折込																							
27年度(補助事業前)	4,787㎡	6,000㎡																							
28年度(補助事業年度)	4,734㎡	30,000㎡																							
29年度(補助事業1年目)	4,054㎡	18,000㎡																							
30年度(補助年度2年目)	6,857㎡	25,000㎡																							
令和元年度(補助年度3年目)	24,521㎡	40,000㎡																							
令和2年度(補助年度4年目)	2,638㎡	10,000㎡																							
令和3年度(補助年度5年目)	3,070㎡	13,000㎡																							
今後の課題と方針	再生製品を使用した低価格製品を生かし、引き続き販路拡大に取り組み、産業廃棄物の減量化に努めたい。また、関西圏特に滋賀県内の施工事例を増やしていきたい。																								